

スラブ軌道に おけるリスク低減





リスク

空洞があるため
足を落とす





根本的対策

穴をふさぐ



対策①

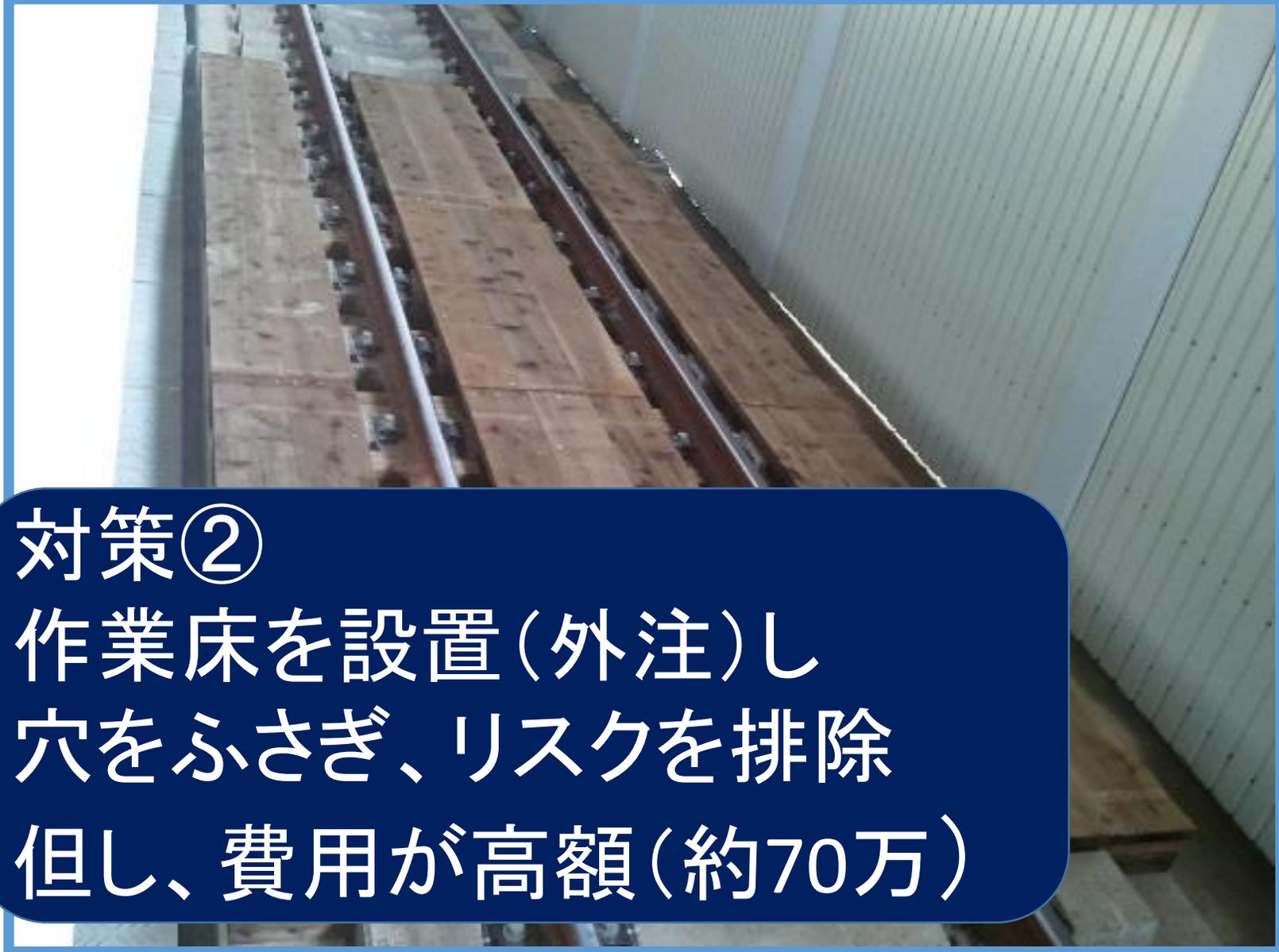
すねあてを装着し、
転落しても
足の怪我を軽減





対策②

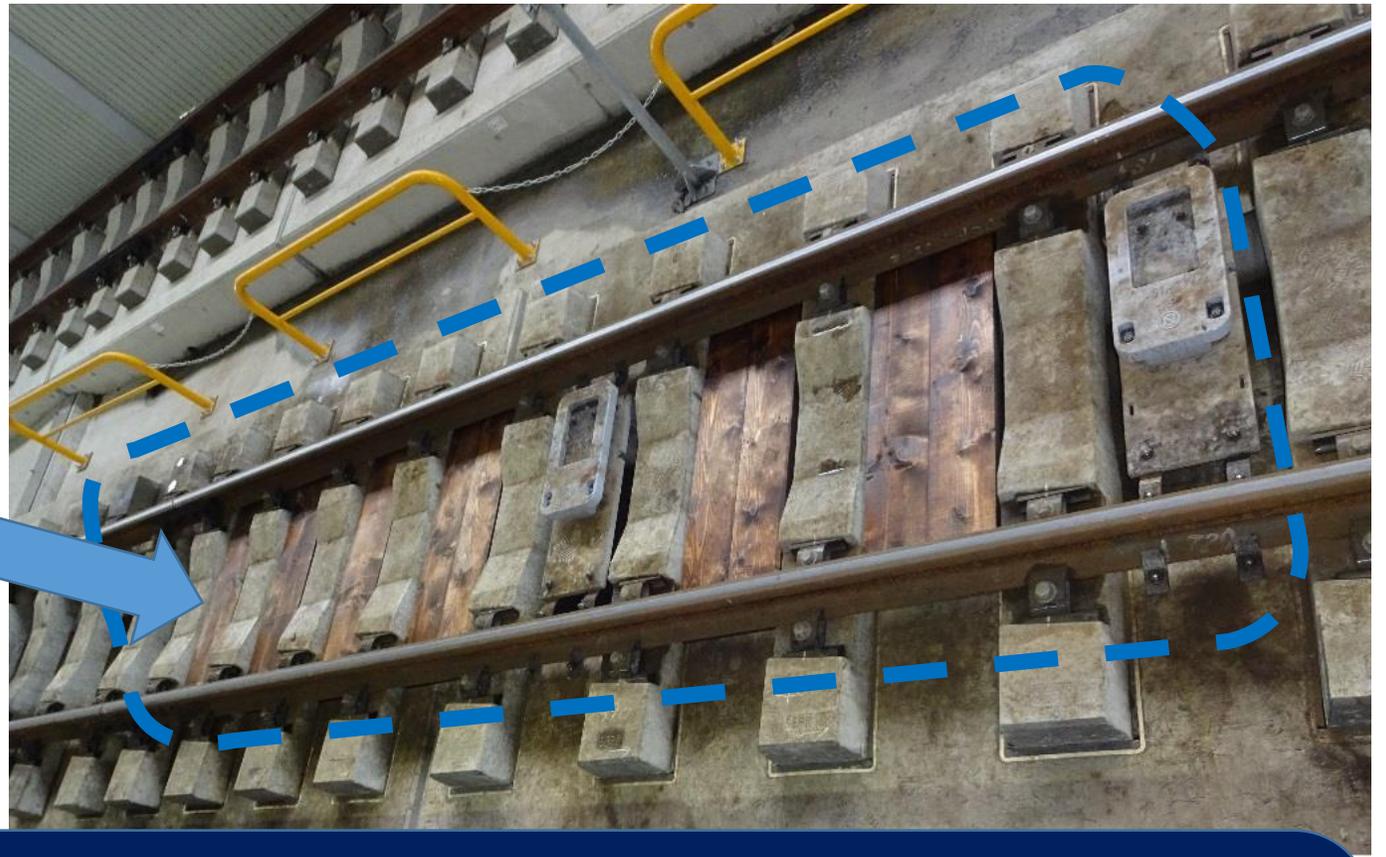
作業床を設置(外注)し
穴をふさぎ、リスクを排除
但し、費用が高額(約70万)





他の場所でも
同種のリスク
が存在





対策③

施設管理センターにて

作業床を安価(工費が大幅減)に自作





作業床が出来、
一見リスクが無くなった？
本当にないの？





残留リスク
コンクリート部分の
表面がツルツルで
雨や雪で滑る

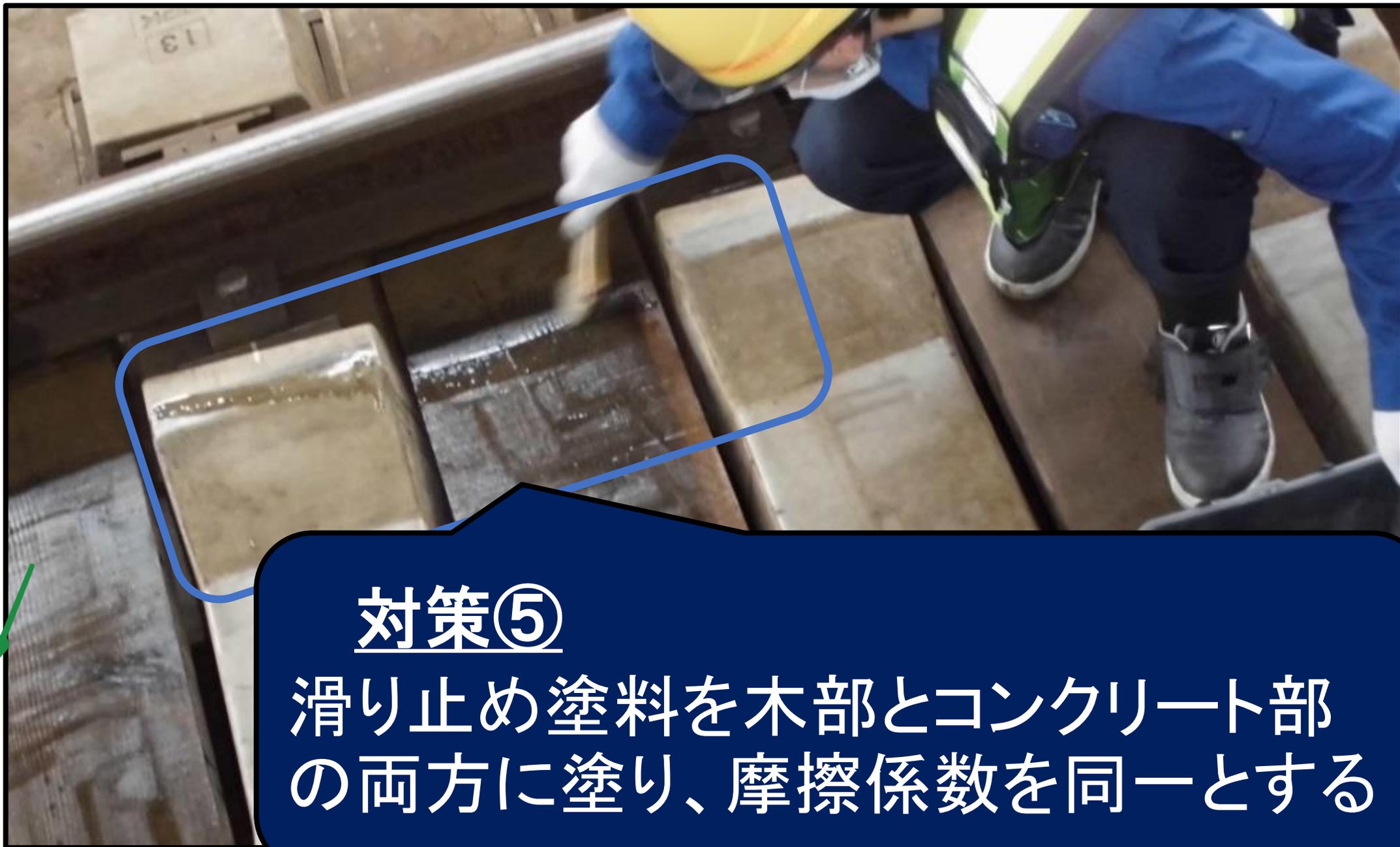




対策④

滑り止め塗料
を塗る





対策⑤

滑り止め塗料を木部とコンクリート部の両方に塗り、摩擦係数を同一とする



今回は、富山駅と施設管理センターのリスク対応策を「見える化」してみました。

リスク対策については、出来る限りのハード対策を行うことが肝要です。

しかし、対策を行っても、残留リスクが残る場合もありますので、リスク感度を高め粘り強く対応していきましょう。

